

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●皐月賞はコントレイルが無敗のまま優勝

4月19日(日)に行われた皐月賞(G I)ではコントレイル(牡3歳/栗東・矢作芳人厩舎)が優勝、三冠レースの第一弾をデビューから4連勝で飾りました。無敗のまま皐月賞を制したのは昨年のサートゥルナーリアに続いて史上18頭目。年明け初戦での皐月賞制覇もサートゥルナーリアに続き史上2頭目のことですが、ホープフルS以来、中112日での勝利は、サートゥルナーリアの中106日を更新し、皐月賞における前走からの最長間隔勝利となります。

### ●中山グランドジャンプはオジュウチョウサンが5連覇

4月18日(土)に行われた中山グランドジャンプ(J・G I)ではオジュウチョウサン(牡9歳/美浦・和田正一郎厩舎)が優勝しました。同馬は昨年このレースで史上初となる同一重賞4連覇を達成していますが、これを5連覇に更新。またJ・G I競走7勝(7連勝)、障害重賞13勝(13連勝)、障害競走での獲得賞金7億4860万6000円も、自身の持つ歴代1位の記録を更新しています。

### ●クロフネ産駒が1400勝、キングカメハメハ産駒が1900勝を達成

4月18日(土)の1回福島3日・第5レースではジュンアキアが1着となり、クロフネ産駒のJRA通算勝利数が1400勝となりました。これはJRA史上8頭目の記録となります。翌19日(日)の3回中山8日・第5レースではカフェキングが1着となり、キングカメハメハ産駒のJRA通算勝利数が1900勝となりました。これはJRA史上3頭目の記録となります。

### ●シンゲンマイケルらの競走馬登録抹消

2019年中山大障害(J・G I)などの勝ち馬シンゲンマイケル(騾6歳/美浦・大江原哲厩舎/JRA通算24戦6勝)は、4月18日(土)に行われた中山グランドジャンプ(J・G I)のレース中に頸椎関節脱臼を発症して死亡し、同日付で競走馬登録を抹消されました。2017年プロキオンS(G III)の勝ち馬キングズガード(牡9歳/栗東・寺島良厩舎/JRA通算42戦8勝・地方5戦0勝)は、4月17日(金)付で競走馬登録を抹消されました。今後は北海道浦河町の日進牧場で乗馬となる予定です。2018年函館記念(G III)の勝ち馬エアアンセム(牡9歳/栗東・吉村圭司厩舎/JRA通算36戦5勝)は、4月22日(水)付で競走馬登録を抹消されました。今後はJRA馬事公苑で乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●牝馬ステラモナークが菊水賞(園田)圧勝【各地の主要3歳重賞】

兵庫三冠の第一関門、菊水賞(4月16日、園田、1700m)は、先手を取ったステラモナーク(牝、父エスポワールシチー)が後続を5馬身引き離し、単勝1.6倍の支持に応えて重賞4連勝を果たしました。あやめ賞(4月6日、水沢、1400m、牝馬)は、北海道デビュー、大井経由でこれが岩手転入緒戦だった5番人気のアンズビジン(父メイショウボーラー)が、3番手から3コーナー手前で抜け出して3馬身差で完勝。クラウンC(4月15日、川崎、1600m)は、中団から3、4コーナー中間で先頭に立った3番人気のウタマロ(牡、父イルハヴァアナザー)がそのまま押し切り、単勝1.8倍で断然人気のニューイヤーCの覇者グリーンロードは5着でした。東海クイーンC(4月21日、名古屋、1800m、牝馬)は、3番人気のビックパレリーナ(父トゥザワールド)が逃げ切り勝ちを収めています。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●オールエイジドS～トファネがG1初制覇

4月18日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われたG1オールエイジドS(2歳上、芝1400m)はO. ボッソン騎手を背に中団待機から直線でじわじわと脚を伸ばしたトファネ(牝4歳、父オーシャンパーク、M. モロニー厩舎)がゴール寸前でピエラタを交わして優勝しました。トファネは昨年10月のG3ベースストレートビーフS(芝1200m)で重賞初制覇を果たすと、続く11月のG3ファーフィースプリント(芝1100m)も連勝。その後は前走4月4日のG1TJスミスS5着まで1000～1200mのG1で4連敗となっていたましたが、距離延長となったここで初のG1タイトルを手に入れました。

### ●アップルブロッサムH～シーシーがG1連勝

米国アーカンソー州のオークローンパーク競馬場で4月18日に行われたG1アップルブロッサムH(4歳上牝、ダート1700m)はカリフォルニアから遠征し、V. エスピノーザ騎手が手綱を取ったシーシー(4歳、父イルーシヴクオリティ、M. マッカーシー厩舎)が差し切り勝ち。3月14日のG1ビホルダーマイルS(ダート1600m)に続くG1連勝としました。